

資料 しまだエコ活動レポート

平成29年度に登録及び報告された「しまだエコ活動」を紹介します。なお、各活動については、市ホームページにも掲載しています。

NPO法人 しまだ環境ひろば

◎活動名 竹林の保全・管理

●活動実績

島田市の国道一号線沿いの里山に、放置竹林が暴走しています。過去に市に竹破碎機を導入願い、それを借り出して、孟宗竹の伐採を精力的に行い実績を残してきましたが、現在は伊太八幡様西竹林と、伊太八倉町公会堂横の竹林に限定して、未だ芽生えてくる若竹の伐採と、草刈り、樹種転換した果樹の養生作業に携わっています。

会員の高齢化、後継難、会員減少などで活動の存続が危ぶまれており、地元自治会や里山維持団体（やらざあ会）などに活動の引継ぎの呼びかけを行っています。

平成29年度は、これまでの多人数による維持活動に代わって、数人の会員が時々出勤して草刈りを行う程度の活動になりましたが、頑張れる間は頑張ろうと暫くの間続けていく事になりました。

■ 草刈りや散策道の整備



■ 一部残した竹林も整備されています。



■ 植樹したアジサイ・もみじも育っています。



■ 数年前に種まきしたピワも元気です。



◎活動名 梅林の保全・管理

●活動実績

しまだ環境ひろばでは、5年前の平成24年、放置された梅林の中に竹が入り込み、どうにもならない状態で持ち主から管理を任せられ、約10本の梅の木を再生して今日に至っています。

1人の会員が、下草刈り、枝の選定、適量な農薬散布の技術を取得して維持管理し、毎年2月には地元の梅まつりに賛同して、花の鑑賞会（梅まつり）に参加、6月には実を収穫する梅刈りをしています。

(1) 会員のSさんの丹精を込めた梅づくりで (2) 6月には大粒な梅がどっさりつきました。
今年も見事に花が咲きました。

■去る2月18日 伊太・梅まつりに参加



(3) 平成29年度も豊作で、6月2日（金）、市内の市民希望者7名と会員8名 計15名が集まってしまだ環境ひろば塾「梅の収穫と自然を学ぼう」を開催しました。

■一般市民参加者も楽しんで梅狩り

■ 収穫した梅は、計量し参加者に安価で斡旋



◎活動名 御仮屋市民農園の開設と維持管理

●活動実績

しまだ環境ひろばでは、平成24年10月、市の農林課さんや県の農林事務所さんの支援で、「御仮屋市民農園」を開設しました。平成29年度で丸5年になり5年契約を更新し今日に至っています。

現在は25名の市民参加者が思い思いの穀物や野菜を栽培して家庭菜園を楽しんでいます。

■現在の御仮屋市民農園の様子です。
すっかり市民農園風になってきました。

■憩いの広場には広葉樹を植えて木陰ができ
参加者の休息の場になっています。



■地元の花の会の皆さんも参加しています。



■Aさんの畑は、玉ねぎが元気で育っています。



■Mさんの畑では、春ジャガが育っています。



■Hさんも頑張っています。



◎活動名 休耕田を利用した「コミュニティ農園」で地産地消

●活動実績

しまだ環境ひろばが、平成21年、地主と契約をして耕作放棄地 約350坪を「中溝町コミュニティ農園」と名付けて開園、市民を農園に呼び込んで今年で8年が過ぎました。

会員が若かった時は、初夏から秋は「大豆栽培」をして収穫した大豆は「手づくり味噌の体験会」に使い、秋から初夏は「菜の花栽培」をして収穫した菜種は「菜種油」にして近隣の保育園に寄贈してきました。

会員の高齢化で、現在は大豆栽培と手づくり味噌の体験会だけになりましたが、味噌づくりはすっかり定着して市民に大変喜ばれており、耕作放棄地の再生と伝統食のコラボは、優しい環境づくりに大いに貢献しています。平成29年度も次の通り活動しましたので報告します。

平成29年6月下旬～7月初旬 みんなで草刈り・耕運・施肥・種まき・網掛け作業（鳥害対策）



平成29年11月下旬 大豆収穫・乾燥・脱穀作業が続く。



平成29年12月初旬 大豆の選別作業



個人畑では参加市民が野菜を育てています。



◎活動名 小水力発電の研究と導入促進

●活動実績

1997年に京都市で開かれ2005年に発効した、「京都議定書」から10年後の2015年、パリで開いた第21回国連気候変動枠組み条約締約国会議（COP21）で「パリ協定」が採択されて2016年に発効しました。温暖化ガス排出量世界第二の米国が離脱を表明しましたが、中国やインドに削減義務の無かった「京都議定書」に比べ、「パリ協定」は、世界の国の殆どが批准した画期的な協定であり大きく前進しました。

温暖化ガス排出量の削減は再生可能エネルギー（太陽光・風力・地熱・小水力・バイオマス）の創出の如何にかかっており、世界各国でこれに傾注を始めています。日本も2030年の電源のベストミックスを公表し、再エネ比率を22～24%にすると発表しましたが小水力発電は遅々として進みません。

小水力発電の好環境にある静岡県も、島田市も力を入れていますがまだまだの感があります。

好環境にある地域が頑張らなければ再エネの創出は進みません。

島田市は、網の目のごとく流れている大井川の用水路を小水力発電に利用しない手はありません。しまだ環境ひろばでは、「島田市ゆめ・みらい百人会議」を契機にして、市民＋土地改良区＋行政で構成する「島田市小水力発電合同検討会」をスタートさせて近い将来、「島田市のどこかに自前の小水力発電所開設」を目標に研究を進めています。

平成29年度は次のような活動を行いましたので報告します。

- (1) しまだ環境ひろば・大井川土地改良区・環境課の協働で「島田市小水力発電ガイドブック」を完成させて、10月7日に開催した「島田市暮らし・消費・環境展2017」に於いて、完成披露がなされました。



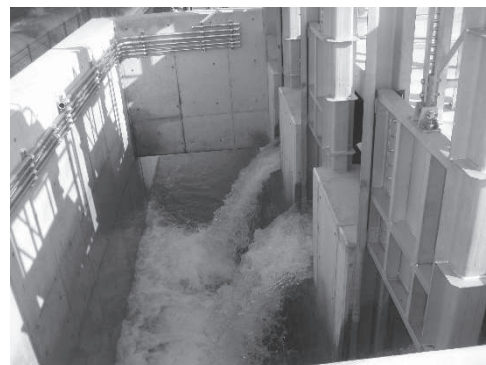
- (2) 11月21日「静岡県農業水利施設を活用した小水力等利用推進協議会 情報交換会」にて、島田市の小水力発電創出の取組み発表と、併せてガイドブックを披露しました。

- パワーポイントで島田市の取組みを発表
- 完成したガイドブックを席上回覧



- (3) 11月18日 しまだ環境ひろば塾 「南アルプスを源流とする大井川の地下水を巡ってみよう」にて、島田市民29名で、各地の地下水を視察しました。
その一環の中で、地上の用水路を水力発電に活用した「細島（小水力）発電所」を見学し、島田市の豊富な水を利用した小水力発電創出の可能性を勉強しました。

- 細島発電所の昔の姿
用水路にたっぷりの水が流れていた。
- 現在の細島発電所の様子
用水路の横に水路を併設し発電所を設置



(4) 11月25日及び2月23日の両日、大井川の清流を守る研究協議会主催の「大井川の中流域を学ぶ視察会」に参加し、既存の水力発電所やダムや分水工の見学を通して、大井川の問題点や課題を学習しました。

■ 11月25日上流域の発電所見学



■ 下流域の島田市相賀浄水場等を見学



◎活動名 市民の環境意識向上のための広報活動

●活動内容

行政や市民活動団体がどんなに良い環境維持・改善活動を行っても、それが広く深く市民に浸透し、全体の成果が上がらなければ意味がありません。

しまだ環境ひろばは設立以来、「市民環境塾」を開催したり、「環境フェア」や、「くらしのフェア」に連続出展したり、広報しまだや公共施設の掲示板やホームページ（ブログ）を使ったりして市民への広報活動を地道にやってきました。

平成29年度も次のような活動を行いましたのでご報告します。

(1) 10月7日の、「島田市くらし・消費・環境展 2017」に、テーマ「私たちの生活の基本は循環型！身近なできることから始めてみよう」で出展しました。

■会員のHさんが来場者に懸命に説明



■説明看板の製作担当のKさんもじっくり説明



(2) 島田市地域交流センター「歩歩路」の掲示板は、生ごみの堆肥化方法や、イベント告知チラシを貼付するなど定期的なメンテナンスを行っています。

(3) しまだ環境ひろばでは、「はてなダイアリー」にホームページ（ブログ）を開設し、ほぼ毎日更新し、平成29年度（3月31日）で2650号（7年間 ほぼ毎日）に達しました。

記事の内容は、環境をテーマにして時の話題や問題（自然・エネルギー・地球温暖化・ごみ・環境教育）など、しまだ環境ひろばや関連団体の活動紹介など多岐に渡っています。

<平成29年度の主な記事一覧 毎日更新しています。>

- 4月10日のブログ 「島田市で、温泉のガスを使った発電を開始」
- 5月24日のブログ 「6月2日（金）は、伊太の梅林で梅の収穫を」
- 6月11日のブログ 「島田市は、全国トップクラスの再エネ創出市だ。」
- 7月30日のブログ 「平成30年は、しまだ環境ひろば15周年」
- 8月21日のブログ 「協働は待っているはダメだ。」
- 9月23日のブログ 10月7日は、「島田市暮らし・消費・環境展」
- 10月27日のブログ 「田舎まちの交通システムのあり方」
- 11月19日のブログ 「こどもわくワーク」で大豆の収穫作業
- 12月23日のブログ 平成29年の、「しまだ環境ひろばの10大ニュース」
- 1月20日のブログ 「島田市クールチョイス対談」 を聞いて
- 2月26日のブログ 「市民活動にやりがい感・達成感を！」
- 3月2日のブログ 「風力発電」の買い取り価格の値下げニュースを見て

◎活動名 しまだ環境ひろば塾の開催

●活動実績

しまだ環境ひろばでは、「島田市環境基本計画」に書かれている市民の環境教育に大きく関わってきました。すなわち平成23年までは市から委託されて「島田市 市民環境塾」を、それ以降は、「しまだ環境ひろば塾」に衣替えして連続15年間、毎年10回程度の開催をして今日に至っています。

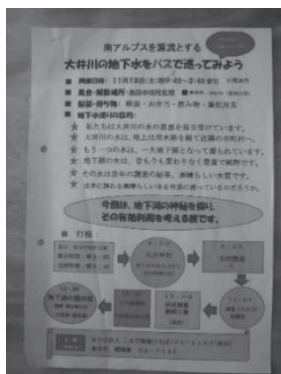
平成29年度も、「しまだ環境ひろば塾」を次のように開催しましたのでご報告をします。

(1) 平成29年6月2日「梅の収穫を通して自然について考えてみよう」を開催しました。



(2) 平成29年11月18日 環境課さんと共催「南アルプスを源流とする大井川の地下水をバスで巡ってみよう」を開催しました。

- 案内チラシを作成、広報しまだにも掲載し、参加者を募集、満員御礼 感謝！
- 先ずは、水の神様「大井神社」に参拝、境内の地下水「双竜の手水」「御神池」を見学



- 地下水をお酒づくりに使っている「大村屋酒造さんを見学、多くの銘酒を醸造



- 最後に、小水力発電所「島田市細島発電所」の大井川土地改良区の、〇さんの説明を聞いた。



(3) 平成30年1月7日・10日・14日・17日・20日・27日「手づくり味噌の体験会」を開催

- 朝早くから大豆の煮込みを開始



- 糨と塩を混ぜて準備



- 煮込んだ大豆に糨と塩を混ぜてミンチ機に

- ミンチをカメに仕込んで手づくり味噌完成



(4) 平成29年6月9日 身近な水環境の全国一斉調査「相賀谷川の水質調査をしてみよう」を実施

- 川の水の取り方や水質調査方法の説明

- 川から水を採取してみんなで検査



(5) 平成29年11月19日 第6回こどもわくワーク「大豆の収穫と運搬作業体験」を実施

■ 第一部は、大豆が出来るまでを座学

■ 第二部 みんなで大豆の刈り取り



◎活動名 環境保全活動の進行管理の推進

●活動実績

島田市は平成13年3月に「島田市環境条例」を発令し、4月には市民環境百人会議を招集して「第一次島田市環境基本計画（10年計画）」を策定し、平成15年3月に計画をスタートさせました。

平成21年に中間フォローを行い、平成24年には、市民環境会議を招集して「第二次島田市環境基本計画（10年計画）」を策定し、平成25年3月に再スタートをし今日に至っています。

この間毎年、市民・事業者・行政が協働して、計画・実行・評価・修正（進行管理＝P・D・C・A）を行い都度、「島田市環境報告書」にまとめて公開してきました。

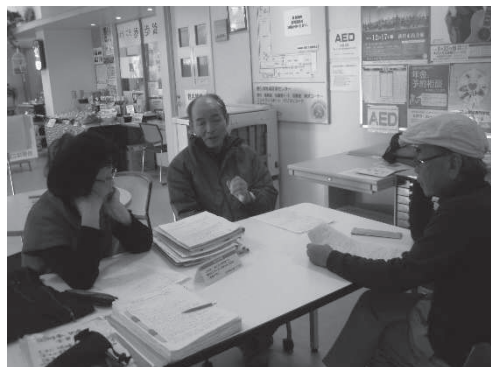
しまだ環境ひろばは、この間全ての環境基本計画の策定やPDCAに参画し今日に至っています。

しまだ環境ひろばは、環境基本計画に書いてある市民の取組を全方位に渡って活動をしているので、内部に於いても、進行管理（PDCA）を毎年行っています。

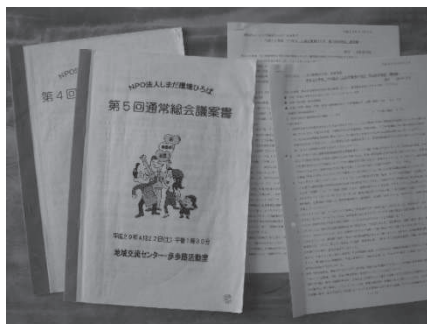
平成29年度は次のような進行管理を行いましたので報告をします。

- (1) 平成29年4月22日 通常総会を開催、平成28年度の事業実績と、平成29年度活動計画・予算計画を承認しました。
- (2) これらの結果は議事録にまとめ、県には「事業報告書」等、法務局には、「定款・役員変更登記」「財産登記」等を提出しています。
- (3) 通常総会終了の翌日から、「総会資料の事業計画書」に基づいて活動を開始しました。
- (4) 隔々月で、定例会を開催し、過去3ヶ月の進捗状況のチェックと、2ヶ月先の活動予定を打合せしています。これらの結果は議事録に纏めて、会員に配信し情報を共有しています。
- (5) しまだ環境ひろばでは、市民との接触のある機会（しまだ環境ひろば塾・農林課主催の地産地消連絡会・学校給食課主催の地産地消推進連絡会など）に、島田市環境基本計画の存在とその進行管理について努めてPRしています。

- 定例会は、市民活動センターを会場にして隔々月開催しています。



- 通常総会は、毎年4月、市民活動センターに殆どの会員が集まり、議案書をもとに活動フォローや計画を審議しています。定例会や総会の議事録は速やかに発行して会員に配布しています。



◎活動名 生ごみの堆肥化の普及活動と生ごみ分別収集の調査・研究

●活動実績

しまだ環境ひろばは、平成15年に設立以来、「生ごみの減量化・堆肥化」に取組み、全国の先進事例の見学や講師も招いての勉強会を何回も何回も実施してきました。

その結果2つの生ごみ堆肥化方式「腐葉土式」と「さんさんBOX式」に辿り着き、もはや勉強の時期は過ぎました。

島田市は、生ごみを分別回収して堆肥化する方式はとらないで、生ごみを家庭で消してしまう、「キエーロ」という方式を採用して市民にその普及策を打っています。市民の中には、生ごみを使っの、「生ごみ自家堆肥化」を望んでいる市民もいるので、「キエーロ方式」と「生ごみ自家堆肥化方式」の併存が最善策だと考えます。平成29年度は次のような活動を行いました。

- (1) 会員のTさんは、「さんさんBOX式」による生ごみ自家処理法を推進しました。
- (2) 会員のMさんを中心に「腐葉土式」による生ごみ自家処理を推進しました。

- 生ごみ分別バケツに3日間分の生ごみ溜めておきます。



- 腐葉土に予め又力と使用済の食用油を少し混合させた床剤を、生ごみの量と同じだけ混ぜて麻袋に保管して作業は終わりです。一週間もすると、多量の堆肥が出来上がります。



- (3) 市が配布した、平成30年度用ごみ収集カレンダーには今回も、「ごみ処理容器等購入補助金制度」が掲載されています。この制度は、しまだ環境ひろば会員が参画した「ゆめ・みらい百人会議」が行政と一緒に設置した「ごみの更なる減量化推進合同検討会」で決めたものです。

ごみ処理容器等購入補助金制度を活用して、広く市民の間に、生ごみ処理が浸透することを願うばかりです。

大鐘測量設計株式会社

◎活動名 伊太谷川清掃活動

●活動実績

平成29年度の活動は、伊太谷川の清掃活動を3回実施しました。燃えるゴミ、空き缶類等多くのゴミが回収されました。活動結果は以下のとおりです。

伊太谷川清掃活動			
日時	参加人数	場所	ゴミ回収量
H29.5.24	10人	静居寺橋～菰川橋 約400m	燃えるゴミ 3.5kg 空き缶等 2.5kg
H29.9.27	12人	菰川橋～伊太谷川橋 約400m	燃えるゴミ 3kg 空き缶等 1kg
H29.11.27	14人	静居寺大橋～静居寺橋 約400m	燃えるゴミ 9.5kg 空き缶・ビン 1.5kg



登録されている活動以外に CO₂ 削減の取組や総排水量の削減の取組、廃棄物排出量削減の取組を行い、これらの活動を環境経営レポートとして作成し、公表しています。この2016年版レポートで平成29年度環境コミュニケーション大賞に応募し、優良賞を受賞しました。

NPO 法人 しろやまゆいの会

◎活動名 地域の自然環境の保持と住民の生活向上

●活動実績

しろやまゆいの会では、自然の環境の保持や地域住民の健康で文化的な生活の向上を目指して、下記の6事業について活動を行い、活力ある地域づくりに寄与しました。

平成29年度 事業報告				
事業名	事業内容	実施日	従事人数	実施場所
自然とのふれあい事業	湯日っ子の森草刈り	7/15、11/25	47	空港アクセス道路 北側法面
	湯日っ子の森管理体験	3/9	16	
	太陽光発電施設芝桜等管理	4/1～3/31	78	
	芝桜管理	4/20～月1回		
	芝桜植付け	3/9、3/11	26	
文化の伝承事業	炭焼き窯周辺管理	6/4、9/22	4	炭焼き窯
	炭火焼体験イベント	2/7	11	
自然保護事業	下草刈り、コサ切り 間伐	12/2、12/9 1/24、1/27、1/29、1/30	20 24	長間谷 谷田川報徳社
	草刈り	4/23、6/3、6/7、7/30、 9/18、9/19、9/20、11/5、 12/3	105	養勝寺川
	竹林整備、竹林間伐	1/11、1/19	14	原の平吹木線沿い
	草刈り	7/9	5	湯日小学校校庭
しろやま公園 活用事業	七夕祭り準備	8/4	7	しろやま公園
	七夕祭りイベント	8/6	22	
しろやま公園 管理事業	除草 芝刈り	4/22 6～11月(月1回)	27	
しろやま公園 整備事業	階段作り、フジ棚修理	4/19、4/20、2/21	11	

水と里山を守る会

◎活動名 里山・里地整備 荒廃耕作地を再耕作

●活動実績

市街地周辺の中山間部や農家の裏山の茶畑などが耕作放棄され続け竹林に遷移しています。速い速度で拡大する暴走竹林は手の入らなくなった荒廃したスギ・ヒノキ林に侵入し枯死させて一帯を大きく変貌させています。「水と里山を守る会」では荒廃竹林の伐採や荒廃が著しい里山の再生、荒廃里山樹林森の整備を行っています。平成29年度につきましても、下記のとおり活動を実施しました。

(1) 耕作放棄田畑の整備・活用

『ソバ種植え』

里山の放棄茶畑を開墾しソバ種植え（荒地耕作・整備→種まき→雑草取り）9人×3回

ソバの収穫→手作業で刈り取る、人手のみで（コンバインなし）

多くのシートの上に荒廃竹林から切り出した太い竹を並べ枕に、天日干しをする。まくらの竹に打ち付けて脱穀する→篩にかける。

写真に見えるのは、そばの茎を束にしたもので、太い竹を枕に 100 束ぐらい縦列に並べたもの。「天日干し」としてやっているが、雨も多く、ビニールシートを何回も掛けたり外したりしている。（シートがかなりの枚数要る）

写真中央の作業は、そばの穂先を太い竹に叩き付けソバの実を採っている。



『トマトソース用肉厚トマトの栽培』

茶畑・水田の耕作放棄地に山土や土砂をダンプ何台分も入れ、耕運と石拾いを何度も繰返し、また牛糞堆肥を軽トラック 10 台分ほど施した。



竹林整備のほか、耕作放棄地の活用で「そばの栽培」「料理用トマトの栽培」「さつまいも栽培」「パパイア栽培」など全くのボランティアで作業しているが、一番の事業は「料理用トマトの栽培」である。

肉厚のためうまみが多く、家庭や特に専門のレストランで評価が高い。

熟してすぐの早朝の収穫が良く水みずしい張りのあるものが好評である。（朝市にも出している）



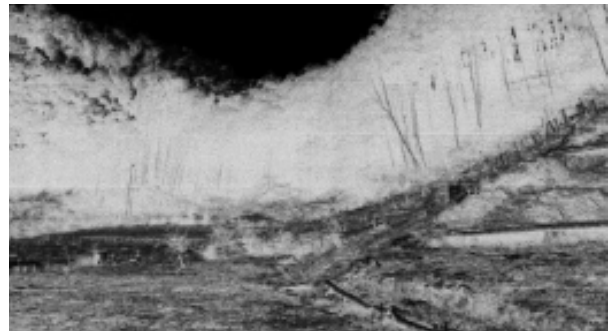
今年も「芋ほり会」を開催 19人参加

耕作放棄地でも、まだ荒れていて通常のものが植えられない部分を使って「屋久島のさつまいも」を3年連続で育てた。沢山の収穫ができた。日頃、里山の整備に参加してもらっている親子に芋ほりのあと焚き火をし、楽しく「焼き芋」を食した。残念ながら今年も全く美味しくない。再研究。

(2) 荒廃竹林の整備

4月～3月 年間5回

荒廃竹林の竹利用は多義に亘る。畝抑え、枝まくらなど使いみちが多い。



ふるさとの森

◎活動名 森のクラフト教室

●活動実績

ふるさとの森では、自然素材である地元の木材を利用して工作を行う「森のクラフト」を実施しています。子どもから高齢者まで、自分で木を切り、形を工夫して作成します。平成29年度に付きましても、様々な場所に出向き開催しました。

金谷公民館でクラフト講座3回実施

実施月	参加人数
7月	小学生の親子40名程度
9月	公民館まつり来場者
12月	小学生の親子20名程度

こみゼロフェスタ4月23日、10月1日で2回実施



森のクラフトの様子

JA大井川女性部島田ブロック

◎活動名 環境美化ゴミ拾い運動

●活動内容

JA大井川女性部島田ブロックでは、例年9月の第一土曜日に大井川河川敷にて、環境美化活動（ゴミ拾い運動）を行っています。

農業になくってはならない水に感謝を込めて、河川敷の美化活動を部員の方々とJA大井川役職員にて行いました。

平成29年度もお忙しい時期にも関わらず、大勢の皆様の御参加をいただきました。

この活動は平成8年度より継続して行っています。

平成30年度も行う予定です。

活動日時：平成29年9月2日(土)

参加人数：女性部員及び役職員 73名



大井川河川敷にて清掃活動の様子

特定非営利活動法人 里山仕事・しょんた塾

◎活動名 里山と諏訪原城跡の整備

●活動内容

1. 神谷城の草刈りとヒノキ・スギ林の間伐作業

神谷城近辺の草刈りは、毎年7～8回行っているが、間伐は平成29年度について、3回行い、草刈りと間伐を実施 累計27人で活動した。

2. 諏訪原城跡の間伐作業は、文化財係の依頼もあり、総曲輪で3回行った。累計12人で活動した。

その他、主な活動として、7月30日「蝶とカタクリ」のタイトルで、大久保氏による講演会を金谷公民館で行った。



里山どんぐりの会

◎活動名 里山づくり(人工林・雑木林の育成)

◎活動名 「森づくり県民大作戦」

●活動実績

平成 29年度				
活動内容	時期又は年月日	回数	活動場所	備考
集落隣接放置竹林・侵入竹林の皆伐整備	H29.4/1.2.6.9. 22.23.27. 6/3.4.17.18. 3/11.15.17. 18.24.29.31	18回	大草 上反方	(約 0.6ha)
住宅隣接雑木の処理	H29.5.28	1回	天徳寺西住宅地	(約 0.1ha)

平成 29年度				
活動内容	時期又は年月日	回数	活動場所	備考
放置竹林の整備	H29.4.16	1回	大草 八幡南	(約 0.2ha)
チャレンジ教室(中学2~3年生) タケノコ掘り体験	H29.4.20	1回	大草 八幡南	(約 0.2ha)
稲刈り、稲干など収穫作業体験	H29.10.10	1回	野田	
幼稚園七夕用竹の提供	H29.7.3	1回	東町	豊田幼稚園へ 25本提供
春の大作戦(どんぐりの苗植えて、 タケノコを掘ろう)	H29.4.15	1回	大草 上反方	59人参加 植樹 35本
同上準備	H29.4.13	1回	同上	3人参加
大作戦第2弾(ハイキング道沿いに 広葉樹の苗を植えよう)	H29.5.20	1回	野田 皆尾田	10人参加 植樹 33本
同上準備	H29.5.2	1回	同上	1人参加
大作戦第3弾(流しソーメン用竹樋 と竹コップを作ろう)	H29.8.5	1回	大草 八幡南	5人参加
同上準備	H29.8.3	1回	同上	3人参加
大作戦第4弾(どんぐりの森を作ろ う)	H29.11.4	1回	大草 菅ヶ谷	5人参加 植樹 31本
同上準備	H29.10 2.26.27.28	4回	同上	12人参加
大作戦第4弾(どんぐりの苗を植え よう)	H30.3.10	1回	大草 菅ヶ谷	5人参加 植樹 37本
同上準備	H30.2.24	1回	同上	8人参加

島田瓦斯株式会社

◎活動名 くらしにも優しい環境活動

●活動実績

島田ガス(株)は島田市を中心にガス・でんきをはじめとするトータルエネルギーを提供する企業の責務として、地域に根ざした環境活動に参画し次世代教育の支援をすることを進めています。

①島田市くらし・消費・環境展

2017年10月7日に「島田市くらし・消費・環境展」に参加しました。島田市民の皆様へ、供給している都市ガスの原料である「天然ガス」の供給安定性や環境優位、また都市ガスより水素を取り出して発電する「エネファーム」のCO₂削減の絶大な効果について、パネルや資料による展示、スタンプラリーのゲーム参加などによる広報活動を行いました。

②次世代教育活動

次世代を担う子供たちを中心に、エネルギーや環境についての重要性を学んでいただくための取り組みとして島田ガスでは出張授業を実施しています。

平成29年8月10日には島田市伊太の田代環境プラザで、「平成29年度夏休み親子環境学習講座」を島田市と共同開催いたしました。

また、市内の中学校でも出張授業を開催し、静岡ガス株式会社の岩ヶ谷昌敏氏による、「環境にやさしい太陽光発電と天然ガス」の内容で、マイナス196℃の液体窒素による物質の状態変化についてのわかりやすい実験を行いました。

天然ガスは、採掘地にて超低温処理により液化され、体積を気体比1/600にすることでタンカーによる輸送を可能としており、参加された皆さまにはこのような冷却実験を通して、仕組みをご理解いただきました。



＜夏休み親子環境学習講座 当日の様子＞



（ご案内）
島田ガスと静岡ガスのコラボ
無料の出張授業

☆ 科学の不思議？ 実験は楽しい！面白く楽しく学べます！

学校関係で、環境エネルギー教育、キャリア教育、科学教室などの出張授業
 行政や子供会のイベントなどで面白い実験講座を実施
 年間に、約50日（約100回、約3000名）実施しています。
 出張授業は、写真のように、実験を組み込んだ体験型です。

1. テーマ例

- ・ 面白い科学実験、-196℃の超低温の世界を体験しよう！
- ・ 火音+電燈教室（カセットコンロの正しい使い方と-196℃実験）
- ・ 静岡ガスは、どのような会社なの？（楽しいこと、辛いこと）
- ・ 燃料電池とは（電解質と非電解質について）
- ・ 地球環境問題と、今後の私たちの暮らし方 など

2. 実 験：（原則）全員体験型実験です！

① -196℃の液体窒素を使用した実験



液体窒素（-196℃）の中に風船！
 どうなるかな？（物質の状態変化）
 ミノトマトなど野菜が！ゴムボールが！など、
 驚きの連続！

② 燃料電池発電の実験



砂糖水と塩水の電気分解に挑戦！
 オルゴールを鳴らす。どちらが鳴るかな？
 中学生以上なら、電解質・非電解質、
 イオン、更に、燃料電池の原理を説明

お問い合わせ先（リピーターが多く、1年先の予約があるため、ご相談は早めに）

☆ 島田ガス株式会社 営業部 山根康好
 静岡県島田市横井4丁目16-32
 TEL：0547-36-3900 FAX：0547-37-7886



＜中学校での出張授業の様子＞

＜市内小中学校に配布した出張授業案内＞

③食育・全国クッキングコンテスト

昨今、子供たちの食生活の乱れが心身の発達に及ぼす影響が指摘されるなか、「食育」が注目を集めています。「食育」とは、「食」に関する知識と、バランスの良い「食」を選択する力を身に付け、健全な食生活を実践できる力を育むことです。食べることは生涯にわたって続く基本的な営みですから、子供はもちろん、大人になってからも「食育」は重要です。健康的な食のあり方を考えるとともに、だれかと一緒に食事や料理をしたり、未来ある子供たちのために、栄養の大切さ、食事の自己管理能力を高めるものです。その食育運動として、「一緒に作ると楽しい！おいしい！！」のスローガンに全国親子クッキングコンテストを他のガス事業者と共に開催しています。

2017年第11回大会では、多数の応募者の中から2組の親子代表が県内地区予選に選出し、親子が協力し、オリジナルのレシピを完成させました。

報徳・サン・シンコーグループ

◎活動名 島田市総合スポーツセンター外3施設の地球にやさしいエコ活動

●活動実績

平成29年度は次のような活動を行いましたので報告します。

- ・3Rの推進
- ・グリーン購入
- ・ノーカーデーの推進
- ・グリーンカーテンの設置



グリーンカーテン